

「AIビジネス」の進め方

先端事業・商品開発の《プロジェクト》をかみ砕いて解説

日程 ◆ ご都合のいい日程をお選びください。
2019年9月6日(金) 9月8日(日)

時間 ◆ 午前10時～午後5時

会場 ◆ JR東京駅そば (後日連絡)

対象 ◆ 有望事業・商品の立ち上げを目指す社長・幹部の方々
低迷事業・商品の盛り返しを目論む社長・幹部の方々

和田創研では、「AIビジネスの始め方《ベーシック編》」と「AIビジネスの進め方《プロジェクト編》」のセミナーを2日連続で開催しています。2日連続で参加されることをお奨めします。

意識も発想も真逆にしないと「先端ビジネス」へ動き出せません。

内容構成 ※内容の改訂により一部が変更になる場合あり。

【はじめに】 AIビジネスはハードルが低下

I ディープラーニング

ニューラルネットワークが進化を促す

1. 新事業・新商品に組み込む2大技術とは？
2. AIには大きく機械学習と深層学習がある
3. 「ニューラルネットワーク」の多層化が支える
4. AIがデータを分析し、規則性を抽出する
5. 人間が手入力で教えるわずらわしさが無い
6. 「教師あり学習」か「教師なし学習」を用いる
7. 教師あり学習ではデータセットを読み込ませる
8. 教師なし学習ではAIが自らデータから学べる
9. 文字認識、言語認識、画像認識の精度が高まる
10. ディープラーニングが実用段階に達しつつある
11. 活用事例から見えてくるAIビジネスの広がり
12. うさん臭いAIを信じてみるどころから始める
13. 会議を開いておきながら皆でAIを否定しない

II 「POC」の突破法

AIビジネスの第一関門をクリアする

1. AIはやってみなければ分からないことだらけ
2. POCはプロジェクトで最重要の工程といえる
3. コンセプトの実現性・有効性・受容性を調べる
4. POCによりAI開発におけるリスクを抑える
5. クリアすべきKGIとKPIを定めよ
6. はたして期待した「精度」が得られるだろうか
7. 早く小さく失敗する経験を幾度か積む
8. プロジェクトがはらむ不確実性をつぶしていく
9. AI開発の試行錯誤を減らし、進捗を読む
10. どうすれば「POC止まり」を防げるのか
11. 必要ならばプロトタイプによる検証に踏み込む
12. AIプロジェクトへ「ゴーサイン」を出す

III AIプロジェクトへ

いよいよチームで商品開発に取り組む

1. プロジェクトは「中期経営計画」に位置づける
2. リーダーは文系社員でも十分に務まる
3. AI活用プロジェクトの流れ(工程)と留意点
4. スケジュールとコストは見通しておく
5. 【基本】商品は小さく生み、大きく育てる
6. 頻繁な修正に耐えるアジャイル型開発が適する
7. 【目標】AIで何(What)を叶えるか
8. 【設計】AIをどのように(How)つくるか
9. 実装すべき機能、発揮すべき性能を文書化せよ
10. 完璧を求めると事業展開や商品投入が遅くなる
11. コスト面など、AI開発のハードルが下がった
12. 開発支援のインフラ・サービス・ツールが揃う
13. CS向上へ商品のバージョンアップに励む
14. プロジェクトの経験が次世代をたくましくする

IV 学習データの収集法

ビッグデータとIoTの活用も考える

1. 学習データがAIビジネスの成否を決める
2. 精度向上にはデータの量も質も欠かせない
3. 入力データから出力データへの変換を想像せよ
4. 問題と正解のデータセットが理想といえる
5. AI開発に必要なデータを洗い出して収集する
6. 蓄積データを活用するか新規データを生成する
7. インターネットなどでの公開情報も活用できる
8. いまやAIの進化によりビッグデータを使える
9. 自前のデータがなくてもライブラリーを使える
10. IoTによるデータの爆発が実用化を加速する
11. AI時代ではデータ自体が競争力の源泉となる

【あすから】プロジェクト稼働は社長次第！

1～2年後の事業展開・商品投入へ向けたエッセンスを凝縮。

内容紹介

技術革新が劇的に進むなか、国が資金面や経営面の後押しを絡めながら「AIビジネス」の立ち上げを推奨しています。米国や中国などとの後れを取り戻し、日本の地盤沈下に歯止めをかけようと躍起です。

いまや至れり尽くせりといえるほど支援環境が整っており、すでに追い風に乗って有望事業・商品の開発に突き進んでいる企業も少なくありません。

本講座では滅多にないチャンスを生かせない中小企業の社長や幹部の方々を対象に、プロジェクトを本格稼働させる基本を分かりやすく解説します。

AIをどう取り入れるか。それ次第で自社の命運が左右されます。新規事業・商品に活用するだけでなく既存事業・商品に付加することも可能です。

本講座を通じ、プロジェクトリーダーとして社員や部下を率いるツボ、成功させるツボをつかめます。1～2年後の事業展開や商品投入により、不透明な2020年代に勝ち残りを果たしてくだされば幸いです。

AIビジネスは資金調達断然有利です。

講師紹介



AIビジネスプロジェクト
ゼロスタートナビゲーター

和田 創
(わだ・そう)

同一内容の
企業研修も
可能です。

「とっつきやすく、分かりやすい」。

自身が典型的な文系・アナログ人間ゆえに、専門知識がなくても腑に落ちるセミナーや研修に徹し、絶大な評価を得ています。

「AIで何かやりたい」と考える旧来企業の新事業・新商品開発、新会社設立のプロジェクトの推進と着地を指導しています。

また、具体的なアイデアを持たないクライアントに対しては一緒に知恵を絞り、有望なビジネスプランの構築と事業計画書の作成に取り組むとともに、資金調達まで一気通貫の支援を行っています。

長年にわたり超実践派プランナー・コンサルタントとして、営業・商品・事業・経営などの「イノベーション」を指揮し、業績拡大、社業発展を成し遂げてきました。講師としての登壇実績も多数。

いまは豊富な経験を生かし、中小企業・地場企業の社長の高齢化に寄り添いつつ、「AIビジネス」の導入による企業価値の向上、スムーズな事業承継・後継確保・M&Aの成実に貢献しています。

参加申込み ※東京駅周辺もしくは近郊の別会場になる場合あり。

申込方法

- 参加申込書にもれなくご記入のうえ、ファクスでお送りください。当社より、メールにて請求書と参加証、会場地図などをご送付します。開催7日前までに、請求書に記載した銀行口座へ手数料ご負担にてお振り込みください。なお、参加申込みをお断りする場合がありますが、その際に理由を明らかにする義務を負いません。
- 直前のお申込みはお受けできません。また、キャンセルのご連絡は3日前までをお願いします。それ以降になりますと参加費の払い戻しはいたしかねますので、代理の方がご出席ください。

お申込みはファクスでどうぞ。
FAX 050-3737-4562

参加費

55,000円 (1名当たり。教材費・昼食代込。消費税別途)

※1社2名の参加は1名当たり1割引、3名以上の参加は1名当たり2割引。

お問合せ先

和田創研 TEL 050-3786-3704

MAIL info@wadasouken.co.jp

HP <http://wadasouken.co.jp>

〒104-0061 東京都中央区銀座1-13-1 ヒューリック銀座一丁目ビル4F

「AIビジネス」の進め方《プロジェクト編》 参加申込書

2019年9月6日(金) 9月8日(日)

申込企業	社名		年商	百万円	社員	人
	業種		商品			
申込責任者	氏名		所属		役職	
	所在地 〒					
	TEL		-		-	
	FAX		-		-	
MAIL						
参加者	氏名		所属		役職	
参加者	氏名		所属		役職	
参加者	氏名		所属		役職	

参加申込書にご記入いただいた「個人情報」は、本セミナーの事務手続きと運営のほか、当社グループからの関連情報の提供に使用します。第三者に開示・提供することはありません。